

令和元年度(2019年度)

管理事業名	地域環境保全事業				総合計画の体系	大綱 5 環境 政策 1 環境先進都市のまちづくり 施策 3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 11 環境保全費
部局名	環境部・都市計画部	予算執行所属	環境政策室・都市計画室			
予算大事業名 一般事務事業 地域環境保全事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)土木費(項)水路費(目)水路総務費 地域環境保全事業					
事業の目的と概要 【目的】市民の良好な生活環境の保全を目的としています。 【概要】生物多様性保全施策推進事業(市民が生物多様性について理解し、生物多様性の保全に配慮したライフスタイルを実践することを目指し、啓発等を行います) 地域循環共生圏事業(地域循環共生圏の構築を具体化するための検討会を立ち上げ、吹田市の公共施設への木材利用を推進します、また多様な主体と連携し、自然体験等で環境意識向上を図り、自然保護活動を担う人材に繋がります) アライグマ等危険生物捕獲事業(アライグマ等危険動物の捕獲及び処分を行います) 看板撤去関係事業(屋外広告物の適正化のためのパトロール等を行い、違法な屋外広告物の指導を行います) 環境美化啓発事業(環境美化に関する啓発等を行います)・環境美化清掃委託事業(環境美化推進重点地区等における清掃を行います) 河川親水環境事業(河川管理者である大阪府との協働により、糸田川の河川清掃を行い、環境の美化・保全に努めます)						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の指定箇所数	箇所	0(7)	2(9)	0(9)	地区指定をした箇所数()は総指定地区数
環境美化推進員数	人	1,264	1,224	1,140	推進員の総数(任期2年)
成果の説明	吹田市環境美化に関する条例に基づき、ポイ捨て等を特に防止する必要がある地域を環境美化推進重点地区等に指定し、地元の自治会や事業者とともに環境美化の推進を図っています。 環境美化推進員数は任期満了に伴い新規登録者を確保できなかったことから減少しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	10	10	7	△3
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	402	441	491	50
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	412	451	498	47
給与関係費	27,335	32,781	32,860	79
物件費	5,259	11,106	9,263	△1,843
維持補修費	1,541	1,480	1,553	74
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	43	35	76	40
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	754	754	847	93
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	1,880	2,449	2,767	318
退職手当引当金繰入額	1,399	9,400	1,668	△7,733
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	38,211	58,006	49,034	△8,972
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△37,798	△57,555	△48,536	9,019
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	930	-	△930
特別収入 小計(d)	-	930	-	△930
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	930	-	△930
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△37,798	△56,625	△48,536	8,089
一般財源充当額	37,640	49,656	48,138	△1,517
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△158	△6,969	△398	6,572

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	環境美化啓発事業 委託料 556千円(5,524千円の減) 地域循環共生圏事業 委託料 2,112千円
維持補修費	環境美化啓発事業 路上喫煙禁止標識シートの修繕料 1,553千円(74千円の増)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	412	451	498	47
行政サービス活動支出	38,052	50,107	48,636	△1,471
行政サービス活動収支差額	△37,640	△49,656	△48,138	1,517
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額合計	△37,640	△49,656	△48,138	1,517
一般財源充当額	37,640	49,656	48,138	△1,517
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入)大阪版地方分権推進制度交付金 291千円 (行政サービス活動支出)環境美化啓発事業 委託料 556千円(5,524千円の減)
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成29年度	370,072 人	103 円	市民1人あたり131円のコストがかかっています。(令和2年3月31日現在の人口)主に退職手当引当金繰入額の減少により、市民1人あたりのコストが減少しています。
	平成30年度	371,030 人	156 円	
	令和元年度	373,978 人	131 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	2,449	2,767	318
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	2,449	2,767	318
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	6,081	5,234	△847	固定負債	26,921	26,154	△767
有形固定資産	-	-	-	地方債	-	-	-
土地	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	6,081	5,234	△847	退職手当引当金	26,921	26,154	△767
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	29,370	28,921	△449
インフラ資産	-	-	-	純資産	△23,289	△23,686	△398
有形固定資産	-	-	-				
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-				
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	6,081	5,234	△847	純資産の部合計	△23,289	△23,686	△398
				負債及び純資産の部合計	6,081	5,234	△847

Ⅲ 財務構造分析

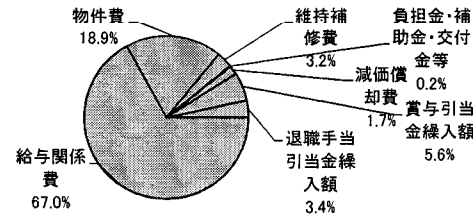
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	4.2人	人	218日	5人	
給与関係費等	35,354千円	千円	1,916千円	25千円	37,295
内、時間外勤務手当	771千円				

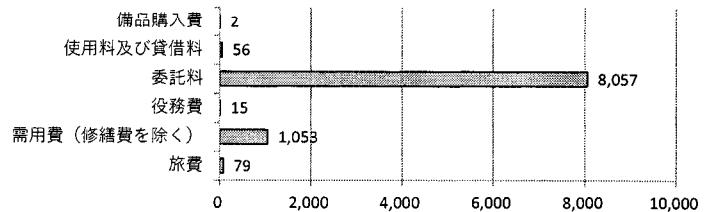
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
事業用資産 建物・工作物	路上喫煙禁止地区の喫煙所の減価償却による847千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	阪急南千里駅喫煙所 ほか
取得年月日	平成26年11月28日
建物・工作物の取得価額	9,137 千円
建物・工作物の減価償却累計額	3,903 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	
施設維持補修費比率		18.8	16.2	17.0	0.8
施設老朽化比率		28.0	33.4	42.7	9.3
受益者負担比率		0.0	0.0	0.0	0.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		98.9	99.1	99.0	△ 0.1
経常費用対公共資産比率		465.6	634.8	536.7	△ 98.1

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費32,860千円(67.0%)、物件費9,263千円(18.9%)となっています。物件費については前年度に比して1,843千円減少しています。これは主に環境美化推進重点地区等の新規地区指定がなかったことによるものです。経常収入の府支出金は、大阪版地方分権推進制度交付金291千円、大阪府屋外広告物条例事務処理交付金200千円で、使用料及び手数料は鳥獣の飼養登録等に係る手数料です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

市民、事業者で構成される環境美化推進員をはじめ多くの方々のご協力により、吹田市環境美化に関する条例が目的としている清潔できれいなまちづくりが進められています。一方、環境美化推進の要である環境美化推進員数は近年横ばいから減少傾向にあります。まちの美化推進は行政のみで達成することはできないため、同推進員数の更なる確保のため方策を検討する必要があります。